

ういやまだよい

Contents

- ★ お知らせ : ピクトタイルプロジェクト
- ★ 職員紹介 : インフェクションコントロール担当者
- ★ 治療紹介 : 脊髄性筋萎縮症
- ★ 色んな職種に聞いてみよう
- ★ 今月の一枚
- ★ 外来予定表

2019.9月
Vol.1



発行

群馬県立小児医療センター

〒377-8577 渋川市下箱田 779 番地

TEL0279-52-3551 (代表)

TEL0279-52-4000 (予約専用)

TEL0279-52-7171 (地域連携室)

Fax0279-52-7333 (地域連携室)

URL: <http://www.cmc.pref.gunma.jp/>



お知らせ : ピクトタイルプロジェクト

看護部長 清水奈保

2015年に前看護部長が「子どもたちが病院に来るのが楽しくなる環境がつかれないか」との考えから、群馬大学教育学部 田中麻里教授や、同大社会情報学部、群馬大学の非常勤講師で寺澤事務所・工房代表の寺澤徹氏らの協力で絵タイル展示を行いました。時間の経過とともに色あせてしまったため、前回メンバーの声かけにより、2019年2月、県立近代美術館において、訪れた子ども達による絵タイル作成（15cm四方の厚紙にクレヨンや水彩絵の具・色鉛筆などを使って、自由に絵を描いてもらう）のワークショップが開催されました。

当センターでは、併設されている特別支援学校の児童生徒とその家族や、病棟・外来の子どもたちにも絵を描いてもらい、ワークショップで作成されたものと一緒に7月20日から展示しています。

エントランスがとても明るくなり、好評です。



職員紹介

ICD:インフェクション コントロール ドクター

小児感染症科医 清水彰彦 (アレルギー感染免疫・呼吸器科)

はじめまして、アレルギー感染免疫・呼吸器科の清水彰彦です。群馬に来てから1年半が過ぎました。「小児感染症科医の仕事」と「感染症と私の出会い」を紹介します。

小児感染症科医の仕事は、大きく3つあります。1つ目は、感染症診療です。他科の医師から、感染症に関する相談(コンサルテーション)を受け、一緒に感染症診療のお手伝いをします。2つ目は、抗菌薬の適正使用の仕組み作りです。薬剤耐性菌がこれ以上増えないように、薬剤師・検査技師など多職種で協力し抗菌薬適正使用支援チーム(AST)を作りました。院内で抗菌薬が適切に使われるようにモニターをしています。抗菌薬が不適切に使われていると判断された場合には、担当医と話して、処方を変えてもらうこともあります。最後は、院内の感染管理です。院内でMRSAなどの耐性菌が伝播しないように、感染管理看護師(ICN)と協力して仕事をします。

私と感染症の出会いは、大学時代にさかのぼります。当時は、長期休暇にバックパッカーとなり、途上国を放浪していました。5年生の時、中国山東省のCDC(中国疾病予防控制中心)に留学しました。中国の結核やHIV感染症の現状を知り、予防接種が子どもたちの健康に重要な位置を占めていることを学びました。小児科医になってからも、感染症と海外への興味を持ち続け、亀田総合病院(千葉県)で感染症の研修を行いました。その後、成田赤十字病院、シンガポール(Tan Tock Seng Hospital)、タイで、輸入感染症の勉強をしました。現在は、国立感染症研究所の研究に参加し、ベトナムの国立小児病院でアデノウイルスの研究を行っています。

途上国では、助かるはずの病気(感染症)で命を失う子どもたちがたくさんいます。一方、先進国では、抗菌薬が効かない薬剤耐性菌が増えて、感染症の治療がどんどん難しくなっています。エボラや鳥インフルエンザなどが、海外から日本に持ち込まれる可能性があり、小児感染症診療の充実が必要と考えます。感染症は、過去の病気ではなく、現在も、これからも人類が戦っていく病気だと思います。

小児感染症に関する情報を広めてゆくことも、私の使命と考えています。小児感染症のトピックをブログ(PedsID's blog: <https://pedsid.hatenadiary.com/>)で公開していますので、ご興味があれば、御覧ください。“Pedsid & ブログ”で検索してください!



2014年3月 ネパール Annapurna Base Camp
にて(標高4,130m)

治療の紹介

脊髄性筋萎縮症

第四内科部長

渡辺美緒(神経内科)



脊髄性筋萎縮症は、筋力や筋肉量を保つために必要な脊髄前角運動神経が徐々に変性、消失して、筋力低下や筋萎縮を来す遺伝性進行性の神経筋疾患です。発症年齢と獲得できる運動発達レベルによってI型からIV型に分類されます。最も頻度の高いI型は、乳児期早期に発症し、手足の筋力だけでなく呼吸をするための筋力も低下するため自力での呼吸ができなくなり、人工呼吸器などによる呼吸の補助をしない場合、ほとんどの患者さんの平均余命は2歳未満とされる非常に重篤な疾患です。

脊髄性筋萎縮症の原因遺伝子であるSMN1遺伝子からは運動神経のはたらきを維持するSMNタンパク質が作られます。この遺伝子に異常があると、正常なSMNタンパク質が作られないため運動神経が変性・消失し、筋力低下や筋萎縮がおこります。

これまで脊髄性筋萎縮症には根本的な治療薬がなく、症状や合併症に対する治療が行われていましたが、2017年に脊髄性筋萎縮症の治療薬として「ヌシネルセン」が使用可能となりました。ヌシネルセンは、SMN1遺伝子のバックアップ遺伝子とされるSMN2遺伝子にはたらきかける薬です。SMN2遺伝子からできるSMNタンパク質は、通常そのほとんどが機能のない不完全なものですが、ヌシネルセンを投与することで完全なSMNタンパク質が増え、運動神経のはたらきを維持することができます。これまでの治験では、I型の患者さんにおいて約5割で無治療に比べて運動機能が改善し、約4割で死亡や人工呼吸器使用のリスクが低下した、という結果が出ました。II型やIII型の治験でも効果が認められています。

ヌシネルセンは、その作用機序から運動神経の変性や、消失が起こる前の早期治療でより効果が期待できます。そのため早期発見がとても大切です。I型では特徴的な症状がいくつかあります。首がなかなか据わらない、手足をほとんど持ち上げないなどの体が柔らかい(フロッピーインファント)状態、息を吸うとおなか膨らんで胸がへこむ奇異呼吸という状態、舌が細かく震える線維束性収縮などです。

このような症状が見られた場合は、なるべく早く専門医にご相談ください。

<p>首がなかなかすわらない</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 生後4か月を過ぎても、くびがすわらない</p> 	<p>胸やおなかの動きが不自然</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 呼吸のとき、胸とおなかが一瞬一瞬交互にふくらんだり、へこんだりしませんか？</p> 
<p>手足をほとんど持ちあげない</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> いつも、ひざが床にべたっとなついていませんか？</p> 	<p>からだのマシュマロのように柔らかい</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 水平に抱こうとすると頭や手足がたれさがりませんか？</p> 

放射線技師 佐々木 保さん(放射線課課長)

インタビュー：新人看護師 山岸未侑さん



Q1. 放射線技師になった動機は？

中学生の時に入院し、医療現場で働く人達に優しく接してもらった経験から、自分も医療系の職業に進もうと考えました。

Q2. 放射線技師の仕事内容を教えてください。

診療放射線技師は、医療における放射線を扱う職種です。検査や治療を行う時に必要になる放射線を、医師または歯科医師の指示を受けて人体に照射できる資格が与えられています。X線検査やCT・MRI検査などが一般的に行われていますが、このような装置を扱って検査を行い、診断に必要な画像を提供しているのが診療放射線技師です。

このほか、消化管造影検査、血管造影検査、乳房X線撮影（マンモグラフィ）、核医学検査、放射線治療、超音波検査、骨密度検査などの検査や治療に携わっています。『ラジエーションハウス』というドラマをやってもらったことで、どのような知識を持って検査を行っているかなど、放射線技師の事を知ってもらう良い機会となりました。

Q3. 子どもの検査時、どんなことに注意していますか？

大人であれば、言ったとおりにしてくれますが、子どもはこちらの言ったとおりにしてくれません。子どもは動いたり、暴れたりすることもあるので、押さえるのに2人以上必要なときもあります。むやみやたらに押さえると骨折の危険がある場合もあり、患者さんに合った方法・力の入れ方で安全な固定を心がけています。

撮影のタイミングも重要です。患者さんをよく観て、息を吸って吐いてのタイミングをこちらで判断して撮っています。

新人放射線技師が適切な胸部写真を撮るのに3か月程度かかることもあります。それくらい子どもの撮影は難しい技術を必要とします。

Q4. 病室で撮影をする時に、介助の看護師以外は部屋を出るように言われますが、残った患児に影響はないのですか？

X線撮影装置は、検査を受ける患者さんに対して、必要な方向（部位）のみにX線を照射するように作られていて、介助者が受けるのは散乱線（水道の水しぶきのようなもの）で、直接あたる直接線に比べるとほんのわずかな量になるため、他の患者さんへの影響はありません。2メートル離れば心配ないと言われています。撮影時は、検査（処置）をするために部屋から出てもらっているのですが、ご家族が被ばくのことでも質問してきた場合には、心配ないことを伝えて下さい。

Q5. 放射線技師の仕事をやっていて良かった点を教えてください。

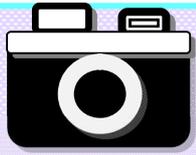
患者さんの治療の基になる写真を撮影したり、診療の鍵となる大切な検査ができたり、患者さんの役に立てたと感じる時です。

Q6. 撮影の介助の時に、看護師に注意して欲しいことを教えてください。

患者さんの最新の情報は、看護師が一番持っているのですが、感染の有無やチューブ・体位などリスクに繋がるような情報を教えて欲しいです。ベッドサイドでの撮影の時などは、お互い協力し合って、患者確認や安全確認をしっかりしていきましょう。

山岸看護師 「放射線技師の業務内容や放射線の影響など様々な内容を教えていただき、とても学びになりました。今回教えていただいた事を活かし、看護師として放射線技師の方々と上手く連携しながら、子ども達に、より良い医療を提供していきたいと思います。ありがとうございました。」





今月の一枚



7月28日に尾瀬沼に行って撮った写真です。大清水からず〜っと登りでしんどかったのですが、大江湿原では、ニッコウキスゲがとてもきれいで癒やされました。
M.F



うりやまに住んでいる昆虫をモチーフにしたキャラクターが誕生しました。
名前が決まったらお知らせします。



編集後記

これまでの「群馬県立小児医療センターだより」を、当センターの所在する丘？山？を「瓜山」と呼ぶことから「うりやまだより」と名称を改めて内容も充実したつもりですが、皆様、お楽しみ頂けたでしょうか？
ところで、瓜山の由来を調べてみたところ、地元出身の民俗学者である都丸九十一によれば、「ウルイ」に由来する地名であろうとのこと。「ウルイ」というのを、『ウィキペディア (Wikipedia)』で検索すると、オオバギボウシという植物の若葉をウルイと呼び、山菜として食用にされるとのこと。なぜ、ウルイかと言えば、「春先の若葉が丸まって立つように生え、葉の色がうり類の皮に似ているので、瓜菜（うりな）が転化したと言われている」とのことでした。ややかしいですね。それはともかく、次号もご期待下さい！（今）

委員長：山田佳之

編集・キャラクターデザイン：福田 円

委員：今井正浩 岡島正樹 宮川祐子 三宅妙子 瀬下明日香

群馬県立小児医療センター 外来診療予定表

(令和元年9月1日現在)

診療科	月	火	水	木	金	備考	
内科	総合内科	午前	清水 彰彦	鈴木 江里子(第2・4週) 山口 有(第1・3・5週)	野村 滋	清水 有紀	柴 徳生(第2・4週) 鈴木 江里子(第1・3・5週)
		午後	錦木 多映子	道和 百合	山口 有	椎原 隆	大和 玄季 (第1・3週予防接種業務)
	神経内科	午前	椎原 隆 迫 恭子(第1・3・5週) 清水 有紀(第2・4週)	清水 信三	渡辺 美緒	道和 百合 鈴木 江里子	椎原 隆
		午後	渡辺 美緒		渡辺 美緒 竹澤 伸子(第3週)	道和 百合	
	循環器科	午前	小林 富男 池田 健太郎		池田 健太郎		小林 富男 (9:30~) 新井 修平
		午後	池田 健太郎 (13:00~15:00) 浅見 雄司 (13:00~15:30)	下山 伸哉	小林 富男 (12:30~15:30) 池田 健太郎(第3週以外) (13:30~15:00)		田中 健佑
	血液腫瘍科	午後	外松 学 (14:00~)	錦木 多映子 (14:00~)	朴 明子 大和 玄季 (何れも14:00~)		
	腎臓内科	午後		丸山 健一(第1・3・5週) (13:30~16:00)		池内 由果(第2・4週) (13:30~)	鎌 裕一(第2・4週) (13:00~16:00)
	アレルギー・感染 免疫・呼吸器科	午前			滝沢 琢己(第1・3・5週) アレルギー検査(第2・4週)		
		午後	清水 真理子 (14:00~14:30: 初診)	山田 佳之 (14:00~14:30: 初診) 清水 彰彦 (感染症・免疫)	滝沢 琢己(第1・3・5週) (13:30~: 再診、 14:00~14:30: 初診) アレルギー検査(第2・4週)	山田 佳之 (14:00~14:30: 初診) 野村 滋 (膠原病・免疫)	加藤 政彦(第1・3週) (13:00~16:00) 清水 真理子 (13:00~15:00: 初診)
外科	一般外科	午前		小山 亮太		高澤 慎也 西 明(第2・4週) (何れも9:00~10:30)	
		午後		高本 尚弘 西 明(第1・2週) 高澤 慎也(第3・4・5週)			西 明 高本 尚弘(第1・3・5週) (13:00~15:30: 初診) 小山 亮太(第2・4週) (13:00~15:30: 初診) 黒岩 実(第3週)
	心臓血管外科	午前					岡 徳彦 友保 貴博 林 秀憲 (何れも9:30~)
		午後	岡 徳彦 友保 貴博 林 秀憲 (何れも14:00~)		岡 徳彦 友保 貴博 林 秀憲		
	形成外科	午前	浜島 昭人 (9:00~10:00: 初診)			浜島 昭人 (9:00~10:00: 初診)	
		午後	浜島 昭人 西村 怜			浜島 昭人 西村 怜 (14:00~)	
	整形外科	午前	富沢 仙一 / 浅井 伸治		富沢 仙一 / 浅井 伸治		富沢 仙一 / 浅井 伸治
		午後	(午前: 再診、午後: 初診)		(午前: 再診、午後: 初診)		
	脳神経外科	午後		藤巻 広也(第2・4週) (13:30~16:30)			
	総合周産期母子医療センター	新生児科	午前		井上 文孝(第2・4週) (新生児・退院支援)		
午後			丸山 憲一 錦木 浩太		小泉 亜矢 山崎 優	丸山 憲一 福田 一代	市之宮 健二 本間 春奈 (第3週以外)
産科		午前	道崎 護 (初診)	佐藤 達也 (再診)	木暮 さやか (再診)		道崎 護 (再診)
		午後	佐藤 達也 田中 亜由子 (初診)		佐藤 達也 田中 亜由子 (初診)	田中 亜由子 (再診)	木暮 さやか (初診)
胎児心臓外来		午前				田中 健佑	
胎児超音波 スクリーニング外来		午前	産科医師				産科医師
		午後			産科医師		
母乳外来	午前						
	午後			助産師			
特殊専門外来	麻酔科	午前		廣木 茜		黒岩 陽介	松本 直樹
		午後	麻酔科医師(術後)	麻酔科医師(術後)		麻酔科医師(術後)	麻酔科医師(術後)
	放射線科	午前			畠山 信逸		
		午後					
	遺伝科	午前					山口 有
		午後					
	歯科・障害児歯科	午前	木下 樹 大嶋 瑛 萩原 大子	木下 樹 大嶋 瑛 萩原 大子	大嶋 瑛 萩原 大子	木下 樹 大嶋 瑛 萩原 大子	木下 樹 大嶋 瑛 萩原 大子
		午後	木下 樹 大嶋 瑛 萩原 大子	木下 樹 大嶋 瑛 萩原 大子	木下 樹 大嶋 瑛 萩原 大子	木下 樹 大嶋 瑛 萩原 大子	木下 樹 大嶋 瑛 萩原 大子
	耳鼻咽喉科	午前			松山 敏之(第1・3・5週) (9:00~11:00)		
		午後	柴野 正人(第1・4週) 新國 摂(第2週) (何れも15:00~)				※2
眼科	午前			平形 恭子(第2・4週)			
小児精神科						※3	
内分泌代謝科	午後		和田 綾 (14:00~)	大津 義晃(第1・3・5週) (14:00~)		※2	
リハビリテーション	午前	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 富沢 仙一 (リハ外来、13:00~14:00)	
心理検査	午前						
心理カウンセリング	午後	臨床心理士		臨床心理士			
予防接種	午後					(第1・3週:13:00~15:00)	

※1: 外来診療の開始時間は、注記のあるものを除き、午前は9:00、午後は13:00から

※2: 耳鼻咽喉科、内分泌代謝科につきましては、都合により当分の間、新規紹介の受付ができませんのでご了承願います。

※3: 小児精神科外来につきましては、平成28年4月1日より当分の間、休診とさせていただきます。